

町政懇談会

くおじやまします。町長です。く

「町民の参加と協働のまちづくり」を進めるため、町民と町長が直接対話し、まちづくりの課題などを共有することを目的に「町政懇談会」を毎年開いています。今年度は10月から11月にかけて「第6次広尾町まちづくり推進総合計画」「ごみ処理手数料の改正」をテーマに3日間5会場で開催し、41人の参加者から多くのご意見をいただきました。

ここでは、当日参加者から寄せられた意見や要望を抜粋、要約してご紹介します。各意見に対する回答については、現在までの情勢の変化などを反映させた内容に手直ししていますので、ご了承ください。

《第6次広尾町まちづくり推進総合計画の策定作業を進めています》

広報8月号でもお知らせしましたが、町は、令和3年度から10年間の「第6次広尾町まちづくり推進総合計画」の策定作業を進めています。今回の町政懇談会では、今年2月に実施した「まちづくりアンケート」内の「広尾町のまちづくり満足度」や5月に実施した「まちづくりワークショップ」、まちづくり推進計画委員会で議論された「まちのめざす将来像」について説明しました。

今後、今回の町政懇談会で出された意見についても反映させていきます。

《ごみ処理手数料の改正について》

平成15年度からごみ収集運搬が有料化となって以降、人口減少及びプラスチック製容器包装の資源化等に伴い、ごみ袋の売り上げが減少し続ける一方、ごみ収集運搬にかかる委託料はほぼ変わらない状況にあります。

有料化にあたっては、目安としてごみ収集運搬委託料の半分程度をごみ袋売上収入で見込んでいましたが、平成30年度には約26%にまで落ち込んでいます。

このままでは、町の財政に大きな影響を及ぼすことから、十勝管内の他市町村と同様の水準となるよう、ごみ処理手数料を改正する案について説明しました。今後は、12月定例会において改正案が提案される予定となっています。改正時期については、町民への周知期間を考慮し、令和2年7月を予定しています。

ごみ処理手数料の改正案

【現行】

	種類 (リットル袋)	単価 (円)	
		1枚当たり	1リットル当たり
ごみ処理 手数料	10	20	2.00
	20	30	1.50
	30	50	1.67
	45	70	1.56

【改正後】 令和2年7月1日～

	種類 (リットル袋)	単価 (円)		比較
		1枚当たり	1リットル当たり	
ごみ処理 手数料	10	30	3.00	1.5倍
	20	50	2.50	1.7倍
	30	90	3.00	1.8倍
	40※	120	3.00	1.9倍

※45リットルから40リットルに変更

Q 3 進学などで町を離れる子どもも多い。広尾高校を卒業して就職しようと思っても、地元で働くところがない。

A 3 町内では働き手が足りない職場もあります。若い人たちの考えとミスマッチが生じているため、町を離れた人も戻ってくるような施策について、第6次まちづくり推進総合計画の中に項目を作って検討しています。

Q 4 ごみを帯広市のくりりんセンターで共同処理することになるというのは決まったことなのか。

A 4 現在、ごみを処理している南十勝環境衛生センターの焼却炉は老朽化が進んでおり、衛生センターの建て替えやくりりんセンターでの共同処理に移行した場合など複数のパターンを試算しました。その結果、くりりんセンターでの共同処理が最も有効だったため、利用者の利便性を損なわないという条件で移行が決定しました。
なお、すべてのごみを共同処理に移行するわけではなく、「燃えるごみ」のみが共同処理に移行します。また、共同処理への移行時期は、新しくりりんセンター供用開始の令和9年度以降となります。

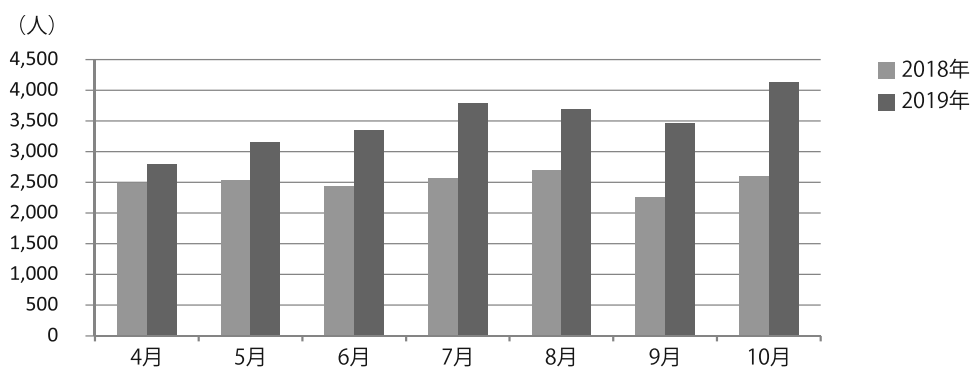
Q 1 現在、第6次広尾町まちづくり推進総合計画の策定作業は具体的にどのようなことを行っているのか。

A 1 「まちづくりアンケート」や「まちづくりワークショップ」等で出されたまちの課題を整理し、それを解決するための手段について、3つの専門部会に分かれて議論してきました。現在、まちづくり計画の「たたき台」が完成し、この「たたき台」をもとにまちづくり計画の「素案」を策定する作業を行っています。

Q 2 町立病院が公立病院再編統合の対象として発表されたが、町立病院はなくなるということなのか。

A 2 国は2017年のデータを元に公立・公的病院再編統合の対象として、町立病院を含めた全国424病院のリストを公表しました。しかし、町では町立病院を維持していくため、今年4月に地方独立行政法人に移行し、さらに病床の見直しも行っています。現時点で、町立病院を再編・統合するということは考えていません。町としては、現状と合っていない今回の公表について反対しています。

昨年度と比較した広尾町国民健康保険病院の外来患者数





老朽化が進む南十勝環境衛生センター

Q5

人口が減少している中でごみの量が少なくなれば委託料も減るのではないか。減らない理由を教えてください。

A5

委託料はごみの収集・運搬にかかるものなので、ごみの量が減ってもごみを収集する人件費や距離は変わらないため、委託料も少なくなるということではありません。

Q8

高齢ドライバーによる重大な事故が発生し、免許を返納する高齢者が増えているが、免許を返納すると、買い物をするのにもすごく不便になる。買い物を支援するコミュニティバスなどの運行は考えられないのか。

A8

これからのまちづくりにおいて買い物支援は重要な問題と考えています。第6次まちづくり推進総合計画で、買い物支援をどのように取り入れていくか検討していきます。

Q6

ごみ袋の値上げをしても持ち込みが無料のままだったら、持ち込む人が多くなり、ごみ袋の売り上げも減るのではないか。ずっと無料なのか。また、ごみ袋の料金が変わった後も、変わる前のごみ袋は引き続き使えるのか。

A6

持ち込みごみの有料化については、大樹町、幕別町を含めた3町で協議していきます。また、料金が変わった後も、従来のごみ袋は引き続き使用できます。

＜開催結果＞

開催日	時間	会場	参加人数
10月25日(金)	18:30	音調津総合センター	10人
10月31日(木)	14:00	野塚公民館	9人
	19:00	老人福祉センター	10人
11月1日(金)	14:00	農村環境改善センター	6人
	19:00	丸山寿の家	6人
計			41人

Q7

ごみ袋が値上がりすると、不法投棄が増えるのではないか。

A7

不法投棄の監視体制にもしっかりと取り組んでいきます。



音調津総合センター (10/25開催)